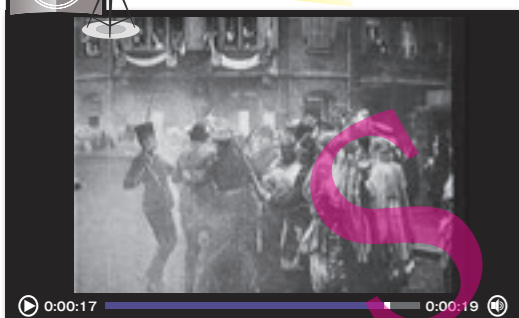


# 『明解歴史総合図説 シンフォニア』 動画の解説+クイズシート

二次元コードをスマートフォンやタブレットなどのコード読み取り用アプリを使って読み込んでください。表示されたウェブサイトにアクセスすることで、それぞれの動画が鑑賞できます。またメディア端末などを教室の大型ディスプレイに接続することで一斉に視聴することができます。個別に視聴する際には、周囲の迷惑とならないようにご留意ください。なお、アクセスする際に発生する通信料は、各自のご負担になります。予めご了承をお願い致します。

## 1 サライェヴォ事件 ～「ヨーロッパの火薬庫」に着火した、第一次世界大戦の火種



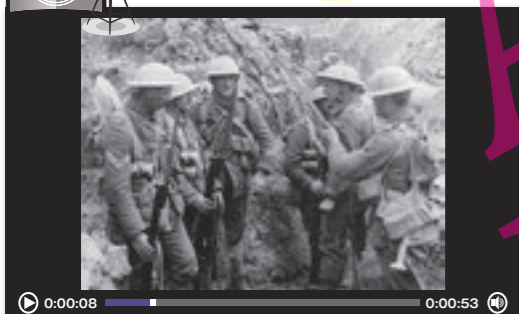
撮影日時 1914年6月28日 視聴時間 19秒 音声なし

オーストリアの帝位継承者夫妻が、当時オーストリア領であったボスニアの州都サライェヴォを視察した。映像は、セルビア人青年が夫妻に爆弾を投げ、取り押さえられた際のもの。この暗殺は失敗するが、直後に別のセルビア人青年が暗殺を実行した。この事件が第一次世界大戦のきっかけとなった。

- セルビア人青年は、なぜ暗殺を行おうとしたのだろうか？
- ①オーストリアがセルビア人の多く住む地域を強制的に併合したため。
  - ②別の帝位継承者を支持していたため。

関連ページ→ p.120 「第一次世界大戦」

## 2 第一次世界大戦 ～クリスマスまでには帰れる、はずだった戦争



撮影日時 1916年 視聴時間 53秒 音声なし

第一次世界大戦最大の会戦「ソンムの戦い」を撮影した記録映画の一部である。大戦中にヨーロッパで公開されたこの映画は、6週間で2000万人もの観客動員を達成した。開戦当初はすぐに終わると思われていたが、機関銃や戦車、毒ガスなどの新兵器が投入され、塹壕戦が展開されたことで戦争は長期化した。

- 動画に映っている兵士たちは、なぜ塹壕から出ないのだろうか？
- ①機関銃の威力が強いため、攻撃がやむのを待っている。
  - ②前線への補給が途絶え、戦う意欲が下がっていたため。

関連ページ→ p.120 「第一次世界大戦」

## 3 ロシア革命 ～帰ってきたレーニン、世界初の社会主義革命を指導した男



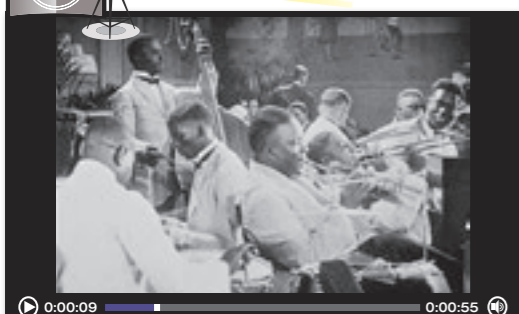
撮影日時 1917年 視聴時間 37秒 音声なし

この映像は、1917年11月に起きた(ロシア暦)十月革命の後に編集されたもので、革命前後のロシア国内の様子を見ることが出来る。映像には、①第一次世界大戦中の反戦デモ、②演説するレーニン、③亡命先のスイスからドイツ兵に守られてロシアに戻るレーニン、④路上の食料配給に並ぶ人々が映し出されている。

- なぜ、ドイツはレーニンをロシアに送り返したのだろうか？
- ①和平交渉の使者として、ロシア政府との停戦を期待した。
  - ②ロシア帝国を崩壊させるため、ロシアの社会主義勢力を支持・支援した。

関連ページ→ p.124 「ロシア革命」

## 4 1920年代のアメリカ ～技術が夢をつくりだす！狂騒の1920年代



撮影日時 1927年 視聴時間 55秒

1920年代のアメリカの暮らしの様子がよく分かる映像である。ホームランを打ちまくるベーブ・ルースや当時流行していたジャズの演奏、車からマシンガンを発射するギャング、大西洋無着陸横断飛行を成し遂げ称賛されるリンドバーグなどが映っており、当時のアメリカの豊かさを見ることが出来る。

- アメリカが1920年代に栄えたのはなぜだろうか？
- ①第一次世界大戦のときヨーロッパに貸していたお金が返ってきたため。
  - ②西部の州で砂金がとれるのが分かったため。



関連ページ→ p.130 「アメリカ合衆国の繁栄」

## 5 世界恐慌 ～「暗黒の木曜日」に狂乱するウォール街 ここから大恐慌が始まった



撮影日時 1929年 視聴時間 8秒

1929年10月24日、ウォール街の証券取引所で株価が大暴落した。取引所では、刻一刻と株価が下落していった。取引所に殺到する人々を撮影したこの映像から、混乱したウォール街の様子が伝わってくる。企業は次々と倒産し、失業者があふれ、アメリカ経済の大混乱は世界に大きな影響を与えた。

- 人々がこれほど行列しているのは、なぜだろうか？
- ①これ以上株価が下がる前に、急いで株券をお金に換えようとしている。
  - ②食料の配給を並んで待っている。

関連ページ→ p.136 「世界恐慌とファシズム」

## 6 塩の行進 ～インドの自治を勝ち取るため、非暴力・不服従で行進



撮影日時 1930年 視聴時間 48秒 音声なし

ガンディーが民衆の前で演説を行っているシーンである。ガンディーの話に聞き入る民衆の服装から、各々の宗教や文化の違いを見ることが出来る。異なる立場の民衆が、ガンディーの力によってひとつにまとまっている様子を見ることのできる映像である。

- ガンディーと民衆はどこへ向かっているのだろうか？
- ①塩をつくるために海へ向かっている。
  - ②信仰の重視を訴えてガンジス川へ向かっている。

関連ページ→ p.129 「戦間期の西・南アジア」

## 7 ドイツでのファシズム台頭 ～メディア戦術で大衆を操る、ヒトラーの独裁



撮影日時 1935年 視聴時間 46秒

1935年のナチ党大会におけるヒトラーの演説である。聴衆は腕を斜め上につき出すナチス式敬礼でヒトラーを熱狂的に出迎えている。ヒトラーの演説は冗長で、美しい声と言えなかったが、分かりやすいフレーズを繰り返して浸透させながら、感情をあらわにした迫力と圧倒的な声量によって聴衆の心をひきつけた。

- 人々がヒトラーに求めていたものは何だろうか？
- ①第一次世界大戦後の不況から抜け出すためのリーダーシップ。
  - ②過激な発言を連発するエンターテイナー。

関連ページ→ p.136 「世界恐慌とファシズム」

## 8 太平洋戦争開戦～日本軍による真珠湾攻撃～日本の奇襲により、アメリカ参戦



撮影日時 1941年12月8日(現地12月7日) 視聴時間 1分14秒

1941年12月8日(日本時間)、日本軍がハワイ諸島(オアフ島)の真珠湾を攻撃し、太平洋戦争が始まった。映像には炎上する艦隊や負傷した軍人たちが映し出され、緊迫感が伝わってくる。この時、日本の宣戦布告の伝達が遅れたため、米国は「だまし討ち」と真珠湾攻撃を強く批判した。

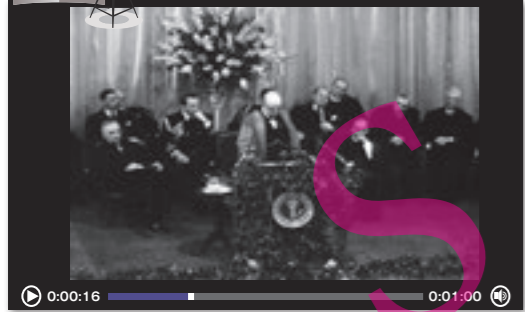
- 攻撃を受けたアメリカが作った、太平洋戦争のスローガンはどちらだろうか？
- ①Remember Pearl Harbor. (真珠湾を忘れるな。)
  - ②Luxuries are your enemy. (ぜいたくは敵だ。)

関連ページ→ p.142 「第二次世界大戦①」

# 『明解歴史総合図説 シンフォニア』 動画の解説+クイズシート

二次元コードをスマートフォンやタブレットなどのコード読み取り用アプリを使って読み込んでください。表示されたウェブサイトにアクセスすることで、それぞれの動画が鑑賞できます。またメディア端末などを教室の大型ディスプレイに接続することで一斉に視聴することができます。個別に視聴する際には、周囲の迷惑とならないようにご留意ください。なお、アクセスする際に発生する通信料は、各自のご負担になります。予めご了承をお願い致します。

## 9 「鉄のカーテン」演説



～「鉄のカーテン」が下ろされ、東西冷戦の幕が上がった

撮影日時 1946年 視聴時間 1分

1946年3月、イギリスのチャーチル前首相は演説の中で、「鉄のカーテン」という印象的な比喩を用いて、ソ連が東ヨーロッパ諸国に勢力を拡大している情勢を強い口調で批判した。すでに第二次世界大戦末期から始まっていた「冷戦(冷たい戦争)」の存在が、この「鉄のカーテン」演説によってはっきりと示された。

- チャーチルが心配しているのは、どのようなことだろうか？
- ① 中欧・東欧へ訪問できなくなる。
  - ② ヨーロッパへ共産主義が広がること。

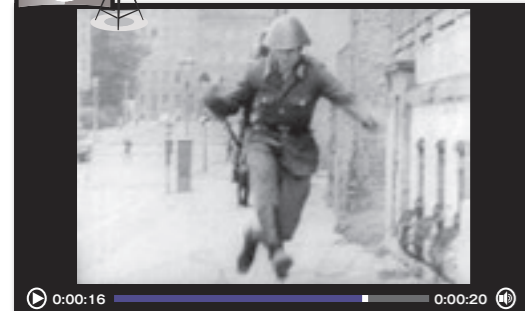


関連ページ→p.148「国際連合の設立と冷戦の始まり」

From Stettin in the Baltic to Trieste in the Adriatic, an "Iron Curtain" has descended across the Continent. Behind that line lie all the capitals of the ancient states of Central and Eastern Europe. Warsaw, Berlin, Prague, Vienna, Budapest, Belgrade, Bucharest and Sofia, all these famous cities and the populations around them lie in what I must call the Soviet sphere, and all are subject in one form or another, not only to Soviet influence but to a very high and, in some cases, increasing measure of control from Moscow.

バルト海のシュテチンからアドリア海のトリエステまでヨーロッパ大陸を横切る「鉄のカーテン」が下ろされた。このカーテンの裏側には、中欧・東欧の古くからの国々の首都がある。ワルシャワ、ベルリン、プラハ、ウィーン、ブダペスト、ベオグラード、ブカレスト、ソフィア、これらの有名な全ての都市とその周辺の住民は、ソ連の勢力圏内にあり、何らかの形で、ソ連の影響下にあるばかりか、ますます強化されつつあるモスクワからの厳しい統制を受けている。

## 10 「ベルリンの壁」建設



～一夜にしてベルリン市民を東西に引き裂いた「冷戦の象徴」

撮影日時 1961年8月15日 視聴時間 20秒

第二次世界大戦後、東西に分断されたドイツでは、西ベルリン経由で西ドイツに亡命する東ドイツの人々が多かった。1961年8月、住民の流出を阻止するため、東ドイツが、西ベルリンを包囲する「壁」の建設を開始した。映像には「壁」を建設する様子と、鉄条網を越えて西側に亡命した国境警備兵が映し出されている。

- 東ドイツの人々は、なぜ西ドイツに亡命したのだろうか？
- ① 資本主義政権の下で、自由な生活を求めた。
  - ② 社会主義政権の下で、安定した生活を求めた。

関連ページ→p.148「国際連合の設立と冷戦の始まり」

## 11 文化大革命



～造反有理！古いしきたりはもういらぬ

撮影日時 1968年 視聴時間 49秒 音声なし

この動画は1968年正月の天津の様子である。文化大革命は主に学生・青年からなる紅衛兵が中心となり活動が行われた。動画内では、民衆が毛沢東の思想を記した冊子『毛沢東語録』を朗読する様子や、毛沢東の肖像画を掲げ行進する様子が見られる。のちに紅衛兵の活動は過激となり、中国国内は混乱した。

- 行進をしている民衆は何を求めていたのだろうか？
- ① 当時の中国政府の政策への反抗。
  - ② 当時の中国政府の政策のさらなる支援。

関連ページ→p.172「民主化運動の高まり」

## 12 キング牧師の演説



～「私には夢がある」～  
～奴隷解放宣言から100年、リンカン像の前で語られた夢

撮影日時 1963年8月28日 視聴時間 20秒

1963年8月、黒人差別の即時撤廃と「仕事と自由」を求め、20万以上の民衆がワシントン大行進を行った。リンカン記念堂の前で、キング牧師は「私には夢がある」と民衆に語りかけ、非暴力による公民権運動を盛り上げた。翌64年、ジョンソン大統領の下で公民権法が制定され、人種差別撤廃が法的に定められた。

- キング牧師が演説で求めていたのは何だろうか？
- ① 人種に分け隔てのない、完全に平等な市民権。
  - ② 農場での労働条件の向上。

関連ページ→p.168「戦後のアメリカ合衆国」

I have a dream that one day this nation will rise up and live out the true meaning of its creed: "We hold these truths to be self-evident, that all men are created equal."

私には夢がある。「すべての人は生まれながらにして平等である。これが自明の理であることをここに保証する」というこの国家の基本理念を、真の意味において実現する日が来るという夢である。

I have a dream that one day on the red hills of Georgia, the sons of former slaves and the sons of former slave owners will be able to sit down together at the table of brotherhood.

私には夢がある。それは、いつの日か、ジョージア州の赤土の丘で、かつての奴隷の息子たちとかつての奴隷所有者の息子たちが、兄弟として同じテーブルにつくという夢である。

## 13 ベトナム戦争



～戦いの悲惨さが全世界に報道された初めての戦争

撮影日時 1967年 視聴時間 42秒

北ベトナムが支援する南ベトナム解放民族戦線のゲリラ戦に対抗するため、アメリカ軍は枯れ葉剤を散布する作戦や民家を焼き払う作戦を実行した。23秒目からは火をつけられ燃える村が映されている。戦場の様子が報道されるにつれ、国内外からの批判や反戦ムードが高まっていくこととなった。

- ベトナムの村人たちが連行されているのはなぜだろうか？
- ① ゲリラではないかと疑われているため。
  - ② 労働力としてアメリカへ連れていくため。

関連ページ→p.164「東西陣営の変動」

## 14 「ベルリンの壁」崩壊



～東西を隔てた「壁」の崩壊が、冷戦終結とドイツ統一をもたらした

撮影日時 1989年11月9日 視聴時間 18秒 音声なし

1989年は東欧各地で「東欧革命」と呼ばれる民主化の動きが進んでいた。同年11月9日、東ドイツ政府が国外への自由な旅行を事実上認める発表を行ったことを受けて、東西分断の象徴であった「ベルリンの壁」に市民が殺到し、壁によじ登り、歓喜にわいた。この翌月、マルタ会談で「冷戦の終結」が宣言された。

- なぜ人々は壁の上によじ登っているのだろうか？
- ① ドイツ統一式典を壁の上から見学するため。
  - ② 東西ドイツ間の移動が自由になることに興奮したため。

関連ページ→p.170「東西冷戦の終結」